

令和6年度 第1回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和6年4月30日（火）13時30分～15時00分

場 所 河原町総合支所

〔出席委員〕

竹田賢一、奥谷仁美、下田和実、西谷美智子、木下 敬、田村 稔、坂本綾子、楳原典子、中村佳紀、山下教幸、林 昭男（順不同）

〔欠席委員〕

浅田義昌

〔事務局〕

九鬼支所長、前田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐

〔傍聴者〕

なし

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議 事
 - 1) 令和6年度総合支所の体制について
 - 2) 令和6年度当初予算について
 - 3) 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について
 - 4) 令和6年度開催スケジュールについて
- 5 その他
- 6 閉 会

議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議 事
 - 1) 令和6年度総合支所の体制について
説明者：九鬼支所長
特に意見なし
 - 2) 令和6年度当初予算について
説明者：前田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長
【委 員】 霊石山のトイレについてだが、何基つくのか。
【事務局】 1基だけです。地域要望も上がってきておりましたので、ジオパーク事業の予算を使っていよいよ設置できる運びとなりました。

- 【委員】 あそこは小学校が遠足に行くときに一基だけでは足りないのではないか。
- 【事務局】 遠足の時期に合わせて市の予算で仮設のトイレを1基設置しています。
- 【委員】 小学校の方からトイレがないので霊石山の遠足をやめようかとも検討をしていると聞いたこともある。
- 【事務局】 2基ないしは3基設置するだけの予算はなかなかつきません。
- 【事務局】 市のほうでバイオマストイレができる時期までに一時的に仮設トイレを設置し始めてから何年も続いてきていますが、常設トイレができることによってその予算を削られる可能性は高いです。
- 【委員】 今の子供は、仮設のトイレでは用は足せないのではないか。
- 【委員】 和式トイレは慣れていないのではないか。
- 【委員】 バイオマストイレだったら座ってできる。匂いもしないと思うので、多分進歩していると思う。
- 【委員】 今はみんな綺麗なトイレに慣れている。
- 【委員】 西郷の旧公民館解体についてだが、なんで今まで置いていたのか。
- 【事務局】 保育園等、解体しなければいけない市有施設はたくさんあります。
- 【委員】 持ち主は誰か。
- 【事務局】 持ち主は鳥取市です。
- 【事務局】 解体費用も結構かかります。そこで優先順位をつけて緊急度の高いものから解体しています。壊した後に第2分団の消防格納庫と詰所を作ることとなっています。
- 【事務局】 今年度は解体、その後、次年度に第2分団の消防格納庫と詰所を合わせた形のものです。
- 【委員】 町内で他に解体が必要な箇所はあるか。
- 【事務局】 支所の第2駐車場です。隣家とのスペースがなく、ボロボロになっている部分があります。風のために外壁が落ちてきたりということがあり緊急度が高いです。今年度は見送りますが、来年度あたりには何とかしないといけないと思っています。他には、旧八上保育園のプールがあります。柵も錆びており、子供の出入りができないようにしないといけないです。
- 【委員】 小学校のところの旧保育所はどうか。
- 【事務局】 民間の保育園が第2の場所として活用したいということで長年使っておられましたが、昨年度いっぱい使わないこととなりました。雨漏りも結構あるという状況の中で、耐震補強も出来ていけませんのでそれを承知の上で、有効利用したい方があれば別ですが、もう使う方がないのであれば解体し更地にして別の形で使用するという事も考えていかななくてはなりません。
- 【委員】 なかなか難しそうだ。農協のところもそうだ。空き家問題がなかなか大変だ。
- 【委員】 水根の日柄橋はどうなっているか。
- 【事務局】 今年度架替えの予算はついています。
- 【委員】 大体の目処はついているか。
- 【事務局】 今把握はしておりませんが、橋の付け替えということでは決定しております。
- 【委員】 幅2mで長さ4mぐらいの橋のことだ。
- 【事務局】 今その橋脚部分を仮設で補強しており、とりあえず橋が通れるように維持する

ということです。ただ、全面改修の決定をしていますが、今年度実施できる予算が確保されているかは確認していません。

- 【委員】 いわゆる仮設だから6ヶ月程度しか持たないと言われたことを心配している。
- 【委員】 三滝荘は使えるのか。
- 【事務局】 そこまで行く道がまだ全然だめです。
- 【事務局】 三滝守り隊の皆さんに大変な思いで維持管理をしていただいています。最低限の維持管理をお願いしているところです。
- 【委員】 軽トラでも入れるようになればだいぶ違うのだが。なるべく早い時期に秋の頃までにできるとか、行楽シーズンに間に合えばなどは思うが、いつ頃完了するのかの見通しはあるのか。
- 【事務局】 あと2年間ありますが、復旧箇所が約150箇所残っています。国の方で復旧事業が終わってからじゃないと着手できないものもかなりございます。国の補助債もこれからです。
- 【事務局】 今年度、農業災害の方は何とか目途が立つと思いますが、林道関係は難しいと思います。特に三朝に抜ける道は10箇所以上で道がなくなっています。
- 【委員】 安蔵線がいつ頃復旧するのか。
- 【事務局】 安蔵とのわかれ道のちょっと手前がもうとんでもないことになっています。3年間で災害復旧はとても困難なように思います。
- 【委員】 林道の場合は時間をとってもらえるそう。
- 【委員】 県が予算を出してくれるのか。
- 【事務局】 県が災害復旧要望の取りまとめをして、国に対してまとめて申請を出して、国の査定を受けてから国が支出する形となります。

3) 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について

説明者：九鬼支所長

- 【委員】 昔はもっと多かったように思うが、地域振興会議の委員の人数がなぜ12名なのか。応募する人は多いのか。
- 【事務局】 応募していただける方も少ないです。
- 【委員】 河原町自治会の会長さんと副会長さんが入ってもよいではないか。商工会でも1人事務局が入ってもいいような気がするが。
- 【委員】 商工会として町に単独で要望というのは、なかなかないと思う。
- 【委員】 例えばあゆ祭りは、500万円程度の予算を組んでいるのだが、ずっと昔は7～800万円だった。合併してからあちこちでイベントが開催されるので減らしてきているのだろうが、やっぱり賑やかにするためには、有名な歌手を呼んだりすると結構かかるわけだ。
- 【委員】 昨年度のあゆ祭りは、約50万赤字でみなさんから集めた募金を、あゆ祭りの方に補填して何とかしのいだ。歌手は呼んでないのだが、歌手を呼ぶのはちょっともう難しいかなと思っている。
- 【委員】 何が問題かというとなんか運営費がどんどん上がってきている。例えばガードマンだけでも80万円も90万円もかかる。物をレンタルしても高くなっている。
- 【委員】 色んな所で祭りがあるわけだから河原だけに予算を増やすことは難しいだろ

う。

【委員】 台風などで会場がどんどん荒れてきて、今人が使ってないこともあり土砂が堆積する。国交省などいろんなところをお願いしているものの、こんな部分にも経費がかかってくる。

【委員】 ここら辺の企業には、協賛いただいているのか。

【委員】 大体協賛いただいているが、花火を上げるためのものだ。続けるのはなかなか大変だ。

4) 令和6年度開催スケジュールについて

説明者：吉田地域振興課課長補佐

【委員】 だいぶ前だけど、佐治か用瀬において、1泊泊まりで研修に行ったと思うが。

【事務局】 泊まりはコロナの前にはありましたが、今はどこの地域も日帰りのみです。

【委員】 皆さんから行きたいところの希望があれば参考にしたい。

【委員】 ブロック会議は昨年なかったわけだから今年も佐治ということか。

【事務局】 その予定ですが、また3町集まって打ち合わせをします。

5 その他（視察について）

説明者：吉田地域振興課課長補佐

【委員】 山口県の自治体だったと思うが、電力会社と提携して、太陽光ソーラー発電と併せて小型の風力発電を一緒にして安く設置していると聞いたことがある。霊石山の関係があるし、河原町は結構風が通るから検討してみしてほしい。

【委員】 皆さん方に何かご要望がこうしてほしいとかあれば、要望などあるか。

【委員】 道路補修についての要望だが、布袋の県道の一部は、できたころから軽トラで走行したら車が跳ねる。

【事務局】 それは県の維持管理課になります。

鮎ヶ丘から袋河原の裏はそもそも農道規格で作ってあるのでどうしても構造的に弱いです。ただ、年次的に全面オーバーレイをやっていく計画があり、順番があと何年かで回ってくると思います。

【委員】 マンホールのあたりが特に段差がひどい。

【事務局】 先ほど委員の皆様、2名からお問い合わせいただきました2件について確認できましたのでご報告します。

まず水根地内の宇土川にかかっている日柄橋についてですが、昨年の8月の台風で被災して橋脚が破損し、今現在は補強して車両等が通行できる状態にはしております。そもそもこの橋は付け替えが決定しております、その優先順位を早める形で本復旧ということで今年度予定しておりましたが、財源が確保できなかったようで、冬季までの間に今やっている補強の橋脚を更新する形でまた冬季間、車が通行できるような状態を維持します。

もう一点、三滝線についてですが、現在仮設計までは終わっておりますが、今年度は10箇所被災しているうちの4箇所しか詳細設計ができません。

それが完了したらその4箇所の詳細設計箇所について、令和7年度から着工ができるということです、今年度は一時的な仮通行までは難しいのではないかとということです。7年度に着工さえできれば、その4箇所部分で応急的な仮復旧ということで車両が最低限通れるまではできるかもしれません。

【委員】 それは三滝溪に上がるまでの区間か。

【事務局】 そうです。

【委員】 道路の上の土砂を取って舗装し直すとか、とりあえずは通れるような気がするが、あんまり精緻なことをしすぎてもどうか。

【委員】 災害復旧工事として補助を受けることが難しい。

【委員】 三滝荘まで上られるようにして、もみじ祭りができるぐらいになるとありがたい。

6 閉 会